

堀切地区の街づくりについて

平成 24 年 6 月 14 日

1. 経 過

堀切地区には、道路が狭く木造住宅が密集する地域が広範囲に存在しており、防災性の向上が喫緊の課題となっている。また、社会情勢の変化や少子高齢化等の要因により、街の賑わいや活力の低下が懸念されている。

このような状況の中、京成本線荒川橋梁架替事業を契機に地域住民の中で街づくりに対する関心と機運が高まり、平成 22 年 4 月には地区住民の視点で当地区の目指すべき街の将来像をまとめた「堀切地区まちづくり構想」が区長に提案された。平成 22 年度は、この「堀切地区まちづくり構想」を踏まえて、密集事業に係る広域調査を実施し、地区の防災性について定量的に評価を行った。

2. 活動状況

平成 23 年度は、広域調査の結果等を踏まえ、防災まちづくりに対する意欲の高い「堀切二丁目地区」や橋梁事業により影響を受ける「堀切四丁目地区」をモデル地区として、まちづくりの整備構想(案)を作成するとともに、堀切菖蒲まつりや大凧揚げ大会などにおけるイベントを通して街づくりへの関心を高める活動等を実施した。

(資料 1: 堀切地区まちづくりニュース 15 号、資料 2: 堀切二丁目周辺地区まちづくりの整備構想(案)、資料 3: 堀切四丁目地区まちづくりの整備構想(案))

3. 今後の活動予定

今後は、この検討結果を踏まえ、両地区の密集事業整備計画(案)や防災街区整備地区計画(素案)の検討を、引き続き「堀切地区まちづくり推進協議会」と協働して実施する。

4. 京成本線荒川橋梁架替について

現在、平成 24 年 5 月 25 日から平成 24 年 6 月 25 日までの期間で「環境影響評価書案」の公告・縦覧を行っている。また、平成 24 年 5 月 30 日に事業者である国土交通省が地域住民への「環境影響評価書案」の説明会を旧小谷野小学校で開催した。

なお、環境影響評価書案に対する区長意見を提出期限の平成 24 年 7 月 9 日までに東京都知事あてに提出する予定である。

(資料 4：環境影響評価書案のあらまし)